

1 北九州市に分布する堆積岩や産出する化石の特徴を調べよう。

博物館の資料を活用して岩石や化石からわかる環境や地質年代を表にまとめよう。

資料番号	岩石名 化石名	北九州市内での分布域・ 産出する場所	岩石や化石から わかる環境	化石からわかる 堆積した時代
1	例) ディプロミスタス	小倉北区熊谷	湖	中生代
2	例) 珪化木	小倉北区藍島	大森林	新生代
3	例) 二枚貝化石床	八幡西区若葉	暖かい海	新生代
4	例) 石炭	八幡西区大辻炭鉱	大森林	新生代

2 北九州の堆積岩・化石を基に北九州の地層の堆積した時代や環境の移り変わりをまとめよう。

探究学習の結果から本書の資料や教科書も参考にして、地層の広がりも関連付けて北九州市の地史・環境の変遷を表にまとめましょう。

地質年代 地域	どのような生物がいたか	当時のようすや環境について気付いたことを書こう
古生代 平尾台および、平尾台とよく似た環境で形成されたと考えられる秋吉台の石灰岩の地層	例) ウミユリ、フズリナ、サンゴ 等	例) 暖かい海に育つサンゴやウミユリがいた。 ※ エンバイラマ館「白亜紀ゾーン」ジオラマ参照
中生代 北九州市内に分布する白亜紀の地層	例) 淡水魚(ディプロミスタス 等) 巻き貝(ビビパルス 等) 肉食恐竜 等	例) 淡水魚が泳ぐ湖があった。 恐竜がいた。 ※ エンバイラマ館「白亜紀ゾーン」「リサーチゾーン」参照
新生代 北九州市内に分布する古第三紀の地層	例) ・ 珪化木、石炭 等 ・ ヤマトクジラ、キッシュウタマキガイ、カルカロドン・アングスティデンス 等	例) ・ 陸地に大森林が広がっていた。 ・ 暖かい海には、たくさんの貝がいて、クジラやサメなどが泳いでいた。